

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社ビーイング  
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津田 能成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 後藤 伸悟

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

TEL 059-227-2932

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	949	—	70	—	85	—	77	—
21年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	9.88	—
21年3月期第1四半期	—	—

※当社は、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率、並びに平成22年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	4,386	1,635	37.3	207.86
21年3月期	4,300	1,558	36.2	198.10

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,635百万円 21年3月期 1,558百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	1,700	—	20	—	30	—	20	—	2.50
通期	3,440	53.6	65	—	85	—	70	—	8.90

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

※当社は、前年3四半期連結会計期間に子会社を取得し、前年3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成している為、対前年同四半期増減率については記載していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	8,257,600株	21年3月期	8,257,600株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	391,240株	21年3月期	391,240株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	7,866,360株	21年3月期第1四半期	—株

前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループは、パッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業利益に反映するという特徴があります。

業績予想の前提となる仮定等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、昨年来の世界的な経済情勢の悪化の中にあり、依然不透明な状況が続いております。建設業界においては、景気の底割れを防ぐための財政出動により公共投資分野においては底堅い動きとなりました。

このような環境の中、当社グループは「建設ICTソリューション」の中核商品である土木工事積算システム「Gaia(ガイア)」のバージョンアップ版を投入し、この分野における絶対的な競争優位の確立に注力してまいりました。また、昨年12月に連結子会社となった株式会社プラスバイプラス（旧社名、株式会社プラスバイプラスドットコム）においても、新たな体制の元で営業体制を見直し、より効率的な全国展開を行ってまいりました。この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は949百万円となりました。

また、利益面では、売上高の増加にともなうコストの増加はあったものの、85百万円の経常利益を確保いたしました。この結果、四半期純利益は77百万円となりました。

なお、前年第1四半期は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期との比較は行っておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加によって流動資産が99百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて86百万円増加し、4,386百万円となりました。

負債につきましては、賞与引当金が22百万円、長期前受収益が33百万円それぞれ減少したものの、未払金が47百万円、前受収益が18百万円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて全体として大きな変動はなく、2,751百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益77百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べて76百万円増加し、1,635百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.1ポイント増加し、37.3%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、636百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動から得られた資金は158百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が81百万円、売上債権の減少額（69百万円）や、前受収益の増加額（18百万円）などによる資金の獲得があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における投資活動により68百万円の資金を支出いたしました。これは、主として定期預金の預入れに53百万円（純額）を支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動におけるキャッシュ・フローはありません。

なお、前年第1四半期は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期との比較は行っておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間において当社グループの経営改善ならびに事業の展開は着実に前進しており、これが直前四半期である前年第4四半期連結会計期間に引き続き、当第1四半期連結会計期間の経営成績の向上に反映されたと考えております。

現時点では今後の政治経済の動向はきわめて不透明であると言わざるを得ず、当社といたしましては、平成21年5月15日に公表いたしました、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想で掲げた、当期「黒字化」を確実に達成するために邁進する所存であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,389,097	1,245,432
受取手形及び売掛金	500,097	569,460
有価証券	1,254,720	1,252,722
商品及び製品	1,914	3,185
原材料及び貯蔵品	6,318	6,109
その他	54,824	27,266
貸倒引当金	△4,820	△1,950
流動資産合計	3,202,153	3,102,226
固定資産		
有形固定資産	256,215	259,950
無形固定資産		
のれん	409,864	415,142
その他	139,924	146,810
無形固定資産合計	549,789	561,952
投資その他の資産		
その他	395,772	393,311
貸倒引当金	△17,042	△17,092
投資その他の資産合計	378,730	376,219
固定資産合計	1,184,734	1,198,122
資産合計	4,386,888	4,300,348
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	57,877	63,820
未払法人税等	3,695	16,369
繰延税金負債	664	570
前受収益	807,339	788,440
賞与引当金	117,147	139,174
その他	236,082	156,927
流動負債合計	1,222,807	1,165,303
固定負債		
退職給付引当金	225,353	222,330
役員退職慰労引当金	—	17,600
繰延税金負債	260	—
長期前受収益	1,303,327	1,336,780
固定負債合計	1,528,941	1,576,710
負債合計	2,751,748	2,742,014

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	1,814,358
利益剰余金	42,269	△1,651,864
自己株式	△85,513	△85,513
株主資本合計	1,741,239	1,663,481
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△106,099	△105,147
評価・換算差額等合計	△106,099	△105,147
純資産合計	1,635,139	1,558,334
負債純資産合計	4,386,888	4,300,348

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	949,277
売上原価	262,758
売上総利益	686,518
販売費及び一般管理費	616,254
営業利益	70,264
営業外収益	
受取利息	7,120
受取配当金	136
保険解約返戻金	7,356
その他	1,118
営業外収益合計	15,732
営業外費用	
雑損失	494
営業外費用合計	494
経常利益	85,501
特別利益	
償却債権取立益	24
特別利益合計	24
特別損失	
固定資産除却損	381
固定資産売却損	247
リース解約損	3,343
特別損失合計	3,972
税金等調整前四半期純利益	81,553
法人税、住民税及び事業税	3,796
法人税等合計	3,796
四半期純利益	77,757

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	81,553
減価償却費	20,502
のれん償却額	5,277
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,819
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,598
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,023
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17,600
受取利息及び受取配当金	△7,257
固定資産除却損	381
保険解約損益(△は益)	△7,356
リース解約損	3,343
売上債権の増減額(△は増加)	69,362
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,061
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,942
未払又は未収消費税等の増減額	14,425
前受収益の増減額(△は減少)	18,898
長期前受収益の増減額(△は減少)	△33,453
その他	26,596
小計	168,036
利息及び配当金の受取額	6,932
法人税等の支払額	△16,093
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>158,875</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△153,000
定期預金の払戻による収入	100,000
有価証券の取得による支出	△3,787
有価証券の売却による収入	124
有形固定資産の取得による支出	△539
無形固定資産の取得による支出	△16,971
敷金及び保証金の差入による支出	△2,268
敷金及び保証金の回収による収入	629
保険積立金の積立による支出	△52
保険解約による収入	7,356
その他の収入	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,210
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
財務活動によるキャッシュ・フロー	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	90,665
現金及び現金同等物の期首残高	545,432
現金及び現金同等物の四半期末残高	636,097

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月1日付で、その他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振替えて欠損填補をいたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間において、その他資本剰余金が1,616百万円減少し、利益剰余金が1,616百万円増加しております。

「参考」

個別決算業績の推移

(単位：百万円)

	平成21年3月期				平成22年 3月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
売上高	475	447	470	623	728
(対前年同四半期増減率)	(—)	(—)	(—)	(—)	(53.2%)
経常利益(△損失)	△131	△145	△127	△19	61

(注)平成21年3月期第3四半期以降の四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。また、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。